

「千葉大学生涯学習友の会けやき倶楽部」創立30周年を、心よりお慶び申し上げます。
貴倶楽部は、自主性・多様性・協調性・社会性の原則を堅持し、30年間活動なさってこられました。いまでは、会員数が250名になられたそうですね。

私は、高度経済成長が叫ばれ目指され始めた1970年代当初より、大学のカリキュラムのなかに、「野に出て生活を学ぶ」という科目を設けました。夏季休暇期間を活用し、房総半島南部や東北・北陸の農山村漁村各地にお邪魔し、地域の小中学校校舎をお借りして、20日以上滞在し、参加学生とともに家々をお尋ねし、古老たちから地域生活の様相を学ばせていただきました。参加学生諸君は農山村漁村の方々の考え方と実践に学び、それぞれの地域がそれぞれの地域資源を大切に維持・伝承しながら生活を行なっている姿に感動しました。大量生産・大量消費を目指していた当時の主流のなかにあって、自然資源を傷めず、搾取しない、少量生産・少量消費を旨とする生活の価値を探求することの重要性を学びました。「野に出て生活を学ぶ」という地域学習に参加した学生諸君の多くは、学部の卒業論文に、地域におけるかけがえのない生活体験を綴ったのです。また、修士課程に進学した学生たちは、毎年の「野に出て生活を学ぶ」カリキュラムの指導者となり、初めて参加する学生たちが見聞の視点を広めることに力を尽くしたのです。大学院終了後は、「野に出て生活を学ぶ」ことによって習得した諸考察を国や地方自治体における地域生活づくりに活かし、実践している者も数多く出ています。

皆様方の「生涯学習友の会けやき倶楽部」は、発足の当初から、地域の方々と協働実践する事業をなさっておられますので、地域振興に通じる成果を多数修めておいでのことと存じます。今後とも、自主性・多様性・協調性・社会性の原則を堅持されて、ますますの実績をあげられますよう、衷心より応援申し上げます。

地域は、人であり、歴史であり、生活の場であります。皆様方の「生涯学習友の会けやき倶楽部」のご活動が、今後とも、それぞれの人・歴史・生活を活かし、不朽の、愛が満ち満ちた空間づくりに大きく寄与されていきますことを、衷心よりお願ひ申しあげます。

宮崎清 千葉大学名誉教授 拝